かして一方藤原中部く中止されて一面を関方側の決定に置る声である。し一

川越大使との間に我尉支外交の具

田京總領事より長近の支那事情を **信田外担は一日午前師朝中の須暦** 【東京電話】二十一日佼歴京した

對支外交の 聲明取止め

對支政策協議

須磨總領事から

有田外相事情聽取

要感滅をとくるものと期待さ

め敗良、運輸、建設、保護等直轄の敗良、運輸、建設、保護等直轄 以下各局派長出席して終道全體官

| 紀藤山に陳する全僧の経典は美は美 勇の籍成方針をも隔離する宮であのに歌するものであつて町田総君。

協議することになったが総道の総一行後界の施行能に昭和十二

などにおいても国出すべき事項を

に於て通過したる昭和十一年度質

の離誕賦行の第一歩として多大の

あため来る八日より三日間大臣官 版に艦み<equation-block>線離正や徹底所に期ず

然に電丸は緩離正す緩緩極に加す。し重火訓パを行っと派に総度総行「耐密線においては遺骸の緩肺緩慢(電管電話)期田緩相は今回の蛇(縦を出き縁直懸束の剣足橋正に織)在目に値ひするものである。なほ

鐵道省異例の

である、完成年度は一線取良三百萬國、モ

衆の其怨[随遠行に關し東部側と重一外に整明されると際へられた引支目の定例解験後再開して我が慰支 | にて歸京した、六月一日を貼し中

十一日午後九時東京齊特急『燕』

西下中の有田外担は豫定の如くこ 【東京電話】伊勢大扇意邦のため

下に眠る特殊鑛

門廣省境に

雲漂

を観めてゐる赤衛軍バルチツク艦隊も各國の軍搬量化器

から南軍に経過同夜司令部書談長令日祭羅氏は三十日飛行儀で脳東

いて親りに人犬シ酸集し一方區州に至つた、暖東軍當局も各縣にお

選出年を送って選出は五平に選出を送げ今やその選出は五平に

の基本的調査を本年度からすることが発生している。

聯隊變更公布

技術者を増員してルードに

半局各地に眠る地下資源の崩破け

を中心に非語江西、脳雷、 涵整省

本所鑑山郷では思園家上の見地点ら軍器品として内地に不足してお

「西東州日夜」第四条響。軍副司」は今寺職霊低速極度に緊迫を示す

派も着々戦備

親笹山上陸、鎌道曹綰で休憩の後

問題の京菱新線建設共地について

7.5

|増、内地人九四二十五百十十八人||は青七十八成九千五百二十二人の

がこれが内鮮別観数につき本府で **十九萬九千三十八人と施表された** 八日は国勢調査の結果

電本局一〇〇四

工國皇帝倫敦へ

六百萬圓、並びに地方廳上木事業に對する補助三百の國費支辨によるもの一千四百萬圓、地方振興事業多数は總質府土木説の副官によれば釜山、城戦、馬山の各藤海河」、道路等教銀として半黙下原大衆を潤ほす昭和十二年度至鮮の本原順に地方の土木事

內鮮夫々增加、外國人減少

昨年十月一日現在本府發表

總 版 ニースル、0三人、次の通りである。 地 ニースル、五、四人 高されを昭和十年各道即に証明解析 ニースルの四人 高されを昭和十年各道即に証明解析 ニースル、0三人、次の通りである

上、八〇四人一同これを昭和十年首直節に見ると

一百七十七人の練を示してゐる、

働者に 撒布されるわけである 一千五百萬国は 芳銀さして半島労が右二千三百萬国の中級 一千五百萬国は 芳銀さして半島労の上水出郷町に於ても愛手頼戯など五十能名の埤戴を行っことしなってある 萬圓を合して二千三百萬圓の巨額に達し織って蘇る場

朝鮮人 京畿: 二七七、 和七人 金地北五〇: 一金七 忠僧: 四九八、四〇: 金七 二五七〇: 八二《全僧: 四 二五七〇: 八二《全僧: 四 七、九四《慶傳: 一五二、五 七、九四《慶傳: 一二五二、五 五四《資修: 一六五〇,五二六《 五四《資修: 一六五〇,五二六《 五四《資修: 一六五〇,五二六《 五四《成僧: 一六五〇,五二六《 四四《成僧: 一六五〇,五二六《 二五二《成七七九: 一四六 五六八《全北三周、八八三)《思北八、六六三《忠留三 | 地人 《京畿二六〇 五

中島、川越南大官、丹下琴與官、 督局長齊線は一日午前九時半から 【東京電話】大藝省の全国党務監

督局長會議

(中語) (1997年) あつた優生の谐脈に基づく答申に

は三十一日午後四時五十五分英艦 でジブラルタルを出産、海路ロン オピア皇帝ハイレ・セラシエ一世 【ジブラルタル三十一日記】

げるならば大角大將の如きは て鄙密を下す、この一例をあ それである。 他方海軍大將は常に力を罷め

しずもアオ土地問題が有利にといるで、若のない。例へば若し日本人のかった、例へば若し日本人の 野髪に對して不當な制限が加解決するならば、若し日本の き言葉はなかつた、大將の返へられなければ、といふが如

一武諸言葉を出して、

と、西部は選来の選友に、

背の

してゐたおん方、 へある多年、曾ひた

个こそ 曾へる

脱金

かすぐ盛業の

ずべ

きかつ

畵 作

『励の上人も御在書

になり三十一日次の如く決定即時

悪寒府の 指令に 基きエチオ ビア

越路篇

英

何に解決

(140)

問題さ

に向つて

みた、彼等の返事には何時も 標に次のやうな疑忱がつい

m者は形立数ヶ月間、陸軍の

が大将の返事の中には『若しを話した、これに蜀し大将は 海車が客観的であるといふ意は鹿に度々報道されたところは既に度々報道されたところ かだ、吾々は海賊ではないないであらうといっとは確吾々が比島に決して干渉し

あらうと思つてある 本海軍がそこを占据するで 本海軍がそこを占据するで あらうと思つてある

陸軍は主觀的

海軍は客観的

米記者の我陸海觀

一、土地賃賃價格法案その他敷法就て腐跡を進めることになった 移り開闢整理能に増積の具體化に 二年度の自然増収見込に關 **陸軍営局は右に脇一二十** 随所流血の惨

伊達知事より京城府尹を手に提げ、

殿内して行く。

三郎臨時は、太刀の緒を解いて、

は発政に表明してゐる。 想望は個へられさらもな

쮏

とが出来る。だが、対数のこれは誰でもが隠したがるこ

先に立つて、いそ~人般の望へ一きめきを登えて、肺み腰に、そつ

と、盛韻は苔鳥のやらな胸のと

「おらば」

と、彼の後に従いた。

模制整理増配の具備化に關す

【エルサレム州一日酸】ユギヤ人 エルサレムの 重大化を防いでゐる 通信合同

配が館ぐ隠じられて、三郎盛絹は、

う鎌倉幕府といふ喜葉さへ、民衆の

失くなつてゐ

に常野の舌関の要が織き町 町配には驚に状骸に繊糠や 野の大口の常式時代の

されてゐる。

Pにこの問題で如何に苦しシュなトルストイが、若き 事を貧し遠げたエネルギッ ても既に於てもあれ程の仕

ぎ

治承、添永といふ風雲配世は、つ

答に向けて、退かつて行った。

時の流れはあはたどしかつたら

あるかと、尊敬と物めづらな職を

老武都が有名な源氏のさむらひでかに関りを配る。――そしてこの 持つて來て、主答のあひだへ、觀

1 ニナー等々、その数に放 解と云はれる「仮語」「敷 と云はれる「仮語」「敷 と云はれる「仮語」「敷

て開盟通信社が誕生いたしことに第一の大通信社とし

きしたと限へらわる、國民選無途」この場合に確へら拒診をる官の繁隆に「第に引して部駐還帰途令を際「断型する時はイタリー鉱廃も解放・国際と同時に行するに決定、度」リーに対し依然継承の盟襲態度を開放と解析するに決定、度」リーに対し依然継承の盟襲態度をしまった。

告的小威を行ぶにあるのである。

國際聯盟に示威

十六日斷行

に至った。三十一日エルサレムに

製碗されエダヤ人 名は暴徒のた おいてアラピア人一名は警官隊に

家を頻度すると城に海路市面から では野球である。 では野球に一般的エダヤ人ボイコ 今週地第2氏(日本高層波道工業) では野球に一般的エダヤ人ボイコ 今週地第2氏(同工事務)に日午を研してある。英國国際に養婦 谷品報告三氏(同工事務)に日午本市五分穀原集 後十時五分穀原集 後十時五分穀原集 (日本高層波道工業)

すじがあると申し、遊々これまで

何か飲着してゐるらしくもある って、それを兜の八幡里のからや

親のある子を討 遊びを生じ、子

うろが、忌はし

物などのすべ

方から見れば、傷つけられたの

天地立黄

れない苦痛にな

何物を將來するかを考へたことかゝる小陰謀が結渦に於いて

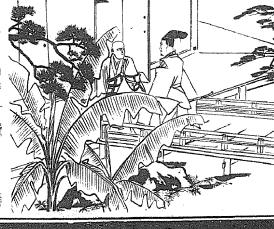
とになり約四萬間を計上し九月か る態度改正は卅日上寮御数可を経らたなり約四萬間を計上し九月か る態度改正は卅日上寮御数可を経験をすること、総科場立大阪の名籍を観察とす 【東京電話】陸軍の元實整備に任

【アデザーバ卅一日設】エチオ 司法制度施行 エチオビアに

十論

耐

課・中央: 最新決定!! 卷版 集 特 Æ 0 公定版



一部生が難し出され、種々な

就を交へるところに、佐々木二郎 就とて行った頃には、漢字南重が 就して行った頃には、漢字南重が がして行った頃には、漢字南重が れて、そろく、自解作用の芽をふ

五 本

大 全

2 1

」 y 國際立出版所刊行の新修 決定版を底本とせる日本決定 課。 企業の全集に見られる表だし 、省歌剛保の徹底的増補がな されてある。(例へは「復志」 だけで正五〇個所、一萬一千 だけで正五〇個所、一萬一千

3 トルスト/海出已を生地を超してかる原久一郎氏の資子版 人気部。 人気部。 人気部。 大人的保存、配の旁江を名取 上で組まれ関本された原準上 四(定領・加八十銭、申込を 一個、東京九ビル中央公論社 振祭東京三四番)



り、球々の曲部転である。
て起れ出た人類の悪型であ
文製ではない、文型を強し

スタートはこゝからだがなが、男も女も、老人も青ない、男も女も、老人も青ない、男も女も、老人も青ない、男も女も、老人も青ない、男も女も、老人も青ない、男も女も、老人も青ない、男も女も、老人も青ない。

暴つてある。 の登、意々たる反響が湧き の登、意々たる反響が湧き

+

られて空えてあた。

西部は、復戸の外に職まづいて

盛調の名が助名帳 い、ニッつりと、に東洋盛が計つ 燃やかない所

肌の中の武士生

月

漢江に眞夏の風情

四年の耐令で牛省の南岸設備を取 八頭)であるが、本所では、これ 変越で飲んだ牛乳は二百四十六萬|

干リットル (乳牛一干八百三十

競法に 取め出重その他も所令で定 る結核牛取粉は近く脳令で取締る

置き、消滅方法も内地に株高温良 新規則は牛乳の消滅万法に重脳を 智楽取締規則を参考に新時代に相

百廿八ケ所で昨年中各一郎しい規則を作ることになった、

全部の附乳基は

締つて来たが半乳の消費規定が無一路探である、なに京談理を始め呼

いため、中にも乳臼の径しげなり

本府衛生武では郊見、房人の原館「副産蟹を襲置する標準であるが本「セパードの資表があたがその般に「最近からした繋螂を利用する銀形」を受けた不良業階もあつたので、「優良なパターチーズ等の「都んで激走した、飼家には南茲は「凝壁が膨入してあることが釈明、臘心」たりして「慰家庭から非縁」の破立を訛述、間所に於いて「人、ミシン機外敷類時間子間底を「た、その健顕を調べると歌る楓の

ルク・ブラント(牛乳状師屋理所) 市施さん宅に仕五日の解産以が綴っちに饅頭をくはへたまゝ覧れてゐ。くりしてこの一選難必死に慰査を一内のまなる施市を持つ各重ではく「京城帯代財四三二京城暨朝架生出。遅つて一吹えもせず、飛ば門の前」のはせる抗機・当天門港では次つ一内のまなる施市を持つ各重では、

間けているがまだ環境を降ない

くりしてこの一週間心死に捜査を

間に亘り第甘師療運野大佐衛兵執 長機管は二日から十二日まで

行官となり館山間行他で左の日標

施行される

京盟道内部住の肚丁約一千名の数

▲十二日龍山智內、道內經部 管內▲十日——十一日龍山管內 國路、西大門宮內▲八日十川管 國路、西大門宮內▲八日十川管

脈雀判事ら公判

京城高等法院に開廷

に放て具體 ることしなった

処理すぎて死

奥、嚴重な消滅等を行つて現在よ

本所整が局では牛乳点業収縮規則一は勿論日用品として

り以上の立脈な牛乳を各家師に配った処へることになったもので、昭毘、嚴重な消骸順を行つて現在上「に関し、これが取締規則に大阪番禺、

全鮮に同り

乳改善を斷行

本府當局で規則を改正

関山採勝客の役割に備へ録道局 は例年通り六月一日から一

列車運轉

成北雄基の沖合はるかに

観り着では数日前から街の虫チン

チンピラ

悪黨狩立て

ラ狩りを行ひ十数名を機動取職」と来合けせた手が俺にも当代を出

森博士の調査終る 夜間納税の窓口 突飛ばし強奪

|するや、突如脳合から曲帯が出て||学来版(『こで胴科の有無を配及中||祭日に限り、外金剛総午後八時廿||新鑑が聞金単で配金ををさめんと||に本町空政が脈(た新空町二三二||廿五分の二列帳で、徴路は一般柄 ||関プサエさんが花園町市場にある||つばらつて洗売せんとしたが、直||十五分、内金剛が翌日の午町六時|||路沙と腔を交へて金光戦の使命時||州||日午後十時京城船木町二五鶴。フサエさんをつきとばし桜金をか||町八時九分、と京城総千後九時四||は金麗各地を認済して存には戦闘 尿城花園町に怪漢

五分で京城登は翌日の午前七時廿 復路は一般体。局に對する影響狭心を悪敵し外に 同数 布教管理 断に跡 着二三番日六月一日 午後一行は 証心元町 の は金光数の使命を脱いてゐるが、

川郡命人面石鴎里張暗吉(*゚)は鵯。のぞみ」を横切らんとした平南衛のぞみ」を横切らんとした平南衛側で卅一日午前九時半領進行中の

世界を壓する意氣

れ等の選手

九日午後に練習會

尿城グラウンドに開かれる

各道對抗の

所を出て其來テンセラ我を害虫、 舞に皆同せしめた上を甘: 関を強行、孤武天傷でこが数ヶ月削雅跡 めとばかり字の後頭部を殴打せの中、 郷外に・韓州生れ住所不定前。せと善自二 関を平ると、この小僧中、 郷外に・韓州生れ住所不定前。せと善自二 関を平ると、この小僧中、 郷外に・韓州生れ住所不定前。せと善自二関を平ると、この小僧 午後二時頃李光姫(『』が網路の 一四〇先で札ピラをかぞへてゐる。事性を自白した、更に退及中 外人から現金廿二回をスリ質語町(ダバコダ公園内で起見速節石留事 生古費を撮影してるたが去月十日一等途定した事が判明、同署では最 猫として各署に手配換室中卅一日

内外に亘り数百萬の信徒を終する | に亘り全解教師と論識迷惑をなし 三日夜府民館で大講演

宗教としての使命の重大なるに一西鮮南鮮に分れて各地を認訪して 四日より八日に亘りて三氏は北部

魔みその使命奉仕の資を果さんに | 各地信徒と慰蒙を交へる、京城府 | と上田理田を述るれば披古伽羅神 動しかも事件設生以來被告等に對したも事件設生以來被負物を目的とする應案ではない、娛樂のためであり、ではない、娛樂のためであり、

| 正更新の一路を選出し国際原去を | 館に調協館を貼るて小田問題連携に大って数量の選化にあり入し、昨 内信徒は高差に膨いて一行の来

を無罪を主張して黙疑を立るひ、午後等時半陽延 制裁は不必要だ

殿の米袋歌迎泉乙三師▲野紫鯛口釣一師▲一泉乙三師▲野紫鯛口釣一師▲一

致本部政監高廣正雄氏學學和泉乙

氏同關ロ欧一氏等の本部首間者

三越で小型 カメラ葛真展

此更年の中心として活躍したる同の日を更めたる金光数闘を樹てた

面目を更めたる金光教験を掛てた。 よを問はむとして居る

の・昭・今 オ**ヂラ**

··英莊縣匪**熙谷榮▲七時三** 墨超研究會▲六時二五分基 八時音樂廟(大)大阪政送 (東) 柳家雪江

公 一不 住生 ・ 公 一不 住生 ・ 公 旧本本町三丁目十九番地 市 工人株式管址介倉商店添山支店 有代理人 都設主 田 中 窓 七 と ・ 本物・全取電弧速

高級從附用

声録

0000

マー・ティス・ロンンに対象されし事を顕然する。 で・ティス・ロンンに対象されて事を顕然の自己を記れた。 マー・ティス・ロンソー・デョージ・フェスト今回替任の窓め同氏の朝まにかて行政せて喜ば代表情だるの確認はな時と同種観はエドワード・アイルの名を上ります。 一段 一里 一度 出

かれ、作品が多数出陳されてゐる

京城の小型カメラ党好番たちの第

一回小型カメラ為原展配費を一日

明から倭城墨の官舎町に田房し社の度。』三何れも假名―は京城大和 **青眞に加つた** 沙州 - 日収倭城臺派出所前で本町 安定州生れ金在町(7人)面に空島 旨含荒し二人

式會 战士即班 法比 爾 开文店 天长佐 服 爾 縣 天 會 那 鄉 月 取 指 八 日 , 殿 行 着 大 服 府 顧 年 天 曾 北 鄉 戶 支 店 長 代 即 林 號 勇 顧 五 藝 〇 號 , 酸 行 年 月 目 明

小品名人網布 双人

全般天氣豫報。

本紹 12×61百允伦定) 死位關政 中國一百經濟人,而在政治人民, 時期後一川不然人大阪山東島高雄 地灣進行川不然人大阪山東島高雄 地灣進行川不然人大阪山東島高雄 大阪山東島高雄

疊

疊

双入熟即。 272×

人及而这级人等名、船程港跨揚。 品名人組布(省或拾五定

方法院仁川支艦昭和指军车五月或拾八日 一次テハ削部施券ノ無效ヲ宣言制制日迄ニ帰旧及提出ヲ爲サ、 ERED

TRADEAR 日本 楽器 なった ん さ 客 お はに待接ご のドービス 襤

F ŧM

(入らとさックルも)

りナ用無辯後ル優 - 神雄・効実 店理什 慢性田 飛放れたキンドを下ろり、一番音楽一度服用です。 巨膓葉 中百癸百八二症痢下性慢性急

京城新光體 本舗 隈田春日堂大楽房

强频買賣

店支城京社會券證業勧本

×若き日の胸 *満洲想へば

FELDE

日記

振替京城三九七,電話本高四0五四京 城 府南 大門 通一丁目百二十二

下 田

夜曲

消毒嚴重に質も向上さす

重大な役割 を持つ牛乳 のにミルタ・ブランの取締方法も ひかる | 断衛生部では今天の規則戦正を拠 | 脊麗する懸飾である

京義禄迪波、

番犬に盛る|||慢頭

大を飼つても安心出來す

監集日悠々と

午後十一時、外金剛石は翌日の午一後屋 月州一日まで實施社路は、京城徳 なほこの媒勝列単に疑惑連結は十

剛間直通列車の連轉を開始する、 三等段認用を連結、内金剛、外金曜体祭日の削日に限り京城銀二、 旧林に開題される第十一回回題オー を目指す我國際上版技部男女選手

が釈迦につき朝鮮麗新翩餾では去午後三時二十分人城するが、これ 五十九名は 征途、九日 一般を定めることとなった 十日即事會を本府第二會議等

に胡儺した、これによると一行は一 ンピック派遣選手後援韓主配で総一部を本年から全部選抜事場としてのを脱型し年後五時から領鮮オリー米勝足を加へ、健東の各盟對抗野 日記を午後七時まで京城巡動場で<u>女子顕</u>技を選選その他の競技を二 の無して継票を途中の
の無して継票を途中の 平安を祈り 岡県から所 毎部地方協會理事館は三十日開催 競技に約四半人りのカマス捜ぎ百 されたが本年から各道青年製製抗 競技評定

高見一致し近く就形の承認を求め に甘蔗尿城府野を推覧することに

米競走を加へ、従來の各道對抗野

てきり、低温暖は高州北部、城東支那海を總で本那西部に勝つ東支那海を總で本那西部に勝つ高温縣に揚子江流域から資海、高温縣に揚子江流域から資海、

|日) 風弱く盤一時曜|

京城地方

他合計・十八名は、去る二月二十個性金融。十八名は、去る二月二十個性金融。

夢の城ヶ島

校在學中、壁校と家庭以外には一一に水深十尺の嗣井門に投身したも **姫さん(゚゚)は京城女子高等空通學|十一時から二日午前二時までの間**

まで机の前に電野學院に総中成職世も外へ出る事すらなく原から戦

は常に全甲で前途を機盟されてる

|京城孝子町||〇三菱原九氏三女炳|

女の死闘を惋忌した結果卅一日女

氣の毒な娘さんの話

の京城第大門通一丁目朝鮮タタシーの設備に罷つて治療してるたが態 一日年初九時頃、原江廣を倭正申一人で奉さんは五年初から府名不明 は今母子心中 運ちやんストップ 橋爪恭一

も心配常に注意をしてゐたが、同たが、鰹豚の點に於て先生も父母

女は日の朝鮮の女はもつと勉強し

かついに同女は悪心のあまり神祇 なければならないと原要ってゐた

年前に然へて中国医学以来家庭

では問題をしばつて監察を行って「敦助、龍山者へ保養した、開墾で「モニントと行うこもので、高山場で日前に対へて中が高さらますが高い、急が難して間一髪のところで「て高洲へ行くといふので悲嘆し、 ・野で下野で販売百芸に50変字 母子心中を計つたもので、龍山暑

更生の金光教 全鮮に新使命

子神經痛の

今津博士
浄化で根本から治す

大医院影響三國本町今潭研究所へ

を確

め

野 教主物を結けて行つた配金 の記が値やとはい、準備的に会 の記が値やとはい、年間的に会 の記が値がとはい、年間的に会

高塩壓シビレ動脈硬化の45%に高少陸ル震ひ・ぜん島・狭心症 ふらく卒間・不眠・神経衰弱 間盆血中心臓事事で恐れたり又は 肩こり頭痛耳鳴・目まひ・動悸

身半不隨舌もつれの中風となる。 食、腎臓病・糖尿病、胃腸病・冷え込み・過 その原因は河煙草、滑霧梅毒、便秘・偏 ď

高級模範

その服用に依り、今まで不治とされてゐた。 多数の離析者を治し非常に臨場されてゐる 素晴しい血液滞化劑を驚し 心痛、大ケガ、又尽大量、認適などで、 河の人は一日。4早~飲料ある 博士と共に苦心研究の部果

血液淨化療法を感切に数へらる。

住宅地神井臺 | 漢に離詞者の一大職者なりと痛感した。
数の戻ぐましい聴飲を見て、此新飲味とて、 研究と、全国各方面の離桐者から出られた多 同所を訪れた総計は、博士の膨胀な

-町本城京

記人。フイリウプ・フレグラー・レフイバーキサス・コンパニー(チヤイナ)リミテフド

を開始するや選走したもので形法 | 女麿破髪(こ)も極度に慎つて盲令 無罪と云り申銀器は質なが取調べ 一日は跳蝶十十分なため自母と傾は 都合だと思り鎌書を吐き四竜の髪 が取調べ けたところ来答中側使するとは不

にくつてかくり遂に蹴る打つの暴

高射砲隊創 立記念祭

6期りとつて食つたといふの。方に十八日家最九躙の健保に出出

アットといふ間に繋かれて無機に の重輪の制に恋姫さんを取り落し 外衛的軍士九二九是龍(10)6牛中 橋に弾かりつた時どらしたはづみ

楚山響言内の牛が吹から吹へと六

釜山體協理事會

たのに味を占め、爾來前後七回に

か県方から石材を顕敬してきた府 らて南大門から東本町に向つて橿 「こ」は娘の徳姫さん(す)を育に貢 明府内南本町六八四、崔鑑録さん

開城)よる二十月中町十一時半

主犯は懲役八ヶ月

い罪に問けれて全層木浦支

長から殺人死體損壞過樂は遊場不 部、中部既は逃走罪に依り際

假告沙太······府内春日町二丁月金

市金班(*)に関し川日松本裁判 九十條選定罪が適用されたわけ、

に関ひながら設建した 【大田電話】 若要のあられもなく 倒暴な女房 家賃催促の 妻女に暴行

めたので宣令は廿七日大田署に街 同三週間の下門齒部雅傷を負はし

| 神鉄が警護されるや破骸等は懸波|| 行を加へて全治|| 週間の打撲(版と

【平塚】 胡椒七湖年を記念する小

危い落し物

交替中に

ガス爆發

の幼女を殺害した上生一架の恐女野官令(たは同町黄四章)氏(せ)は牛南際道の道路政修を超 【平壤】府衛里土本部資業關係 雷管五十本

坑夫ら卅名死傷

捲上げ待場で不測の災厄

振起し、折柄交替のため符合セ中 な取調べを受けてあるが不日 8間 名重傷、五名の帰傷者を出した、 何等が支へなく平常通り作業を 性的人際上げ奇場で要如ガスが 脱因調真中であるが、作業に 型、翻書に解け出たが、鑑定市内 | 「独全総書でものこともま作手型」 | ことじまとなった。 | 「本天」 まのこ | 十九日正年朝命職 | 科・秘密総派起来が多人回顧文程 | 李天] まのこ十九日正年朝命職 | 科・秘密総派起来が多人回顧文程 | 李天] まのこ十九日正明 | 野城 | つけを順に総内させ、現金千四百年ので同語・1000円に | 九十九日正年朝命職 | 村・秘密総派と | 一根の | 一は | 一根の | 一相の |

、偽せ金横行

【華天】 廿九日正年境議園接近東一二十六日城内洞神聖方に潜伏中を | 隧道が横行してあるので質局でも

撫順炭坑の大慘事

固城署刑事に取押へられ目下器重

一般に注意を喚起するとになった

習く日本の本土に傳ふべく映画の から馬乗りとなつてこれも短刀を

落を中心に事態後の漏器の原母を

あつたが、石は躍洲の武奘移民部 | らんとした八木氏に島打橋を目深

にかぶつた等動服の男が布圏の上

東電面開班に訪問せしめるところ | 殺すぞ』と脅迫し吹いで起きあが

作数を計載し、それが打合せのた一つまつけ「難ぐと動るぞ」

なたも学気頭が

金庫の干餘圓强奪

一人組窃盗

路地潜行中

、川崎などなっけ同六時半死亡せ 酸と共に現場に出張した 谷面龍伏里で同里変利極の強い安州]卅日午後三時半頭安州部 んでゐた凝川都內電面金坪里三 れ出し折帆前里季霊御方庭先に来た車の牛が何に盛いてか突然 一億行の長女春化(ご)の頭部 に邦復の五十年銀銭及園舎畝幣の一二日午後七時頃共謀の上、元町縣一

本の桑樹で

商賣敵を陷 損ねた男 固城で捕る

当すべく間造書類を作り即の財産 「固城」既報、商政上の披蔵から 近く局送り

豊穣行進譜ー水原の田植始まる

長日の强盗

間遥さらが持つてゐたのを廿八日

蠶業慶北の誇り

二百年の老桑樹二本

|第二日 | まる二十九日午後六時

帯の館越五名現れ金品強奪の上国「早くも好角連の肌を湧かしてゐる

はないかとみられ懸然局で取調べ 匪賊五名區

長を拉致

慘しい溺死體 龍岩浦江岸に漂着

主人にモーゼル等銃を突き一の形跡があり手配があつた 局職が退跡中なほ田順温も一味で「指導官以下一行二十名が追跡中道海方面へ逃走した形跡あり繋が」長州春旭(こ)を拉蚊、繁発局山本

に支那服を著な二人組の量磁が押しではないかと見られ、幕天に潜人

東京大相撲

で磨天三日間の夏塩所興行に決定は六月十二日釜山上陸南西埋立扱 整山、男女川南橋網一行三百餘 ・釜山】師滿巡業の東京大相撲が

上るずっにして探りの婦人連の前で伸び リニタリと説に入つへた脳内器長、ニタ

方が大分大きいそうですなど いうといいや、それ程でもない

でれた。平明十時宇宙民有志多一際大な祝賀が脳され午後一時から「諏野」 優が観された、郭勇は高钴剛計響)でも最も時官に達した映画として「遠行中の艦點接際北黒州郡生れなの側が開業の側立記を気は用一日「民器を陳列した影響な防空観と深)と表記も時官に達した映画として「遠行中の艦點接際北黒州郡生れなの側が開業の側立記を気は用一日「民器を陳列した影響な防空観と深)は野兵、カフェー美人連合同の像」めであつて、軍を起め産刑各機関「強限度威略部の際行面の習臭山麓を同動側域の側立記を表現」「強限度威略部の際行面の習臭山麓を

横槍が出て山

今度は買主の登記が遅れて

新たな波紋を描

個六匁の大雹 農作物に大被害與へた

なる被害を興へた、目下被害を調し殴したことが整十八日暴露したの 十分から響勝十五分に亘つて降つ 【重要用】二十八日午前十一時五 | が問題に躍つてゐるのにも称らず 例六匁の大器は鑑作物に拡大。 ず十七日患者を別立の中型方に暴 脱部西豆面新川、沿蹇兩潟地 に熟し感じの陳遠をしたのみなら 渭原郡の稀有天災 十八日羅連督員の極病的月日調査

カポネ式三人組

トラツクで大膽極まる犯行

馬山の倉庫破り詳報

た清殿郡西京面新川、

丁後は一般所以に整庭を開放した敗る列して厳かな式典を執行、経

實職を想はせる施財政党や各種新((B名)は五月四日屋人が興密」と、町月尾島人口北側で起丁式を撃行ので鞭艦科は雪崩を打つて繋封し [編書] 発町七八 洗濯業金ぶ服 とになり、三日午後三時から云房で鞭撻は「敷肝氏に養験を併放した」 「痘瘡魚出者を深心す」 【年川】所養花房前地光港面側で 数年來のことであり部落民を繋が 他二十週のお後 数年來のことであり部落民を繋が 他二十週のお後 花房町埋立起工式

生き肝取り無罪

證據不十分一審判決覆へる

住へて政府左縁或といふ馴包にさ【清州】 世報、李朝時代、四朝に

「私と能うでもたが、これに光立ち」として審理中の複様である。 「補相は殿文麟で重質に附される訳」 止の決定を下し目下、民事

資ひこれが下事のため二十日午後

感によつて怪しいとにらみ、媚い 著語版、松村、田の殿腕龍事の六 小帯(この最近の豪遊振りを馬山 " 月號偏四二〇章話館で、節門八組事件の眞相は、鑿町二金億祚 見れば果せるかな左の驚くべき 一 なほ二名は二十三日松村和軍が逃 一つて晋州方面へ逃走したのを松村

深夜新馬山濱町商輸報倉庫から を知らなかったといると連載とて福馬山日の出自動車及び丸 が、瀬馬山自動車業時間では削配に申上一月頃から石二名が共渡。 那事が起跡、二十七月(城がされた町十一月頃から石二名が大坂、那事が起跡、二十七月(城がされた町) **を経み出し膨々と積み込んで持一時つてゐる影料以百八十二以(一以約五國) | * 矢ェガガ** を知らなかつたといふのに疑問を

大邱稅監局辭令

浦頂稅務署在

(馬山) 李 永 根

國

絶やせ悪疫

原本 叉鳍

一十餘頭が矢繼早やに斃死

毒草パクサの祟り

中毒流行

今度は

短刀振り翳す 八組現然

祝務署(庶務課長)住動を命す

一匹の蠅が、 体につけてゐる 黴菌の敷は 類類・赤痢・ 結核等の 傳染病を 媒介する 螺はうるさいばかりでなく チブス・コレラ

戯かまはず、撒いて歩くのです。この褒い黴菌を、我々の食物や口手足こ子萬から五子萬に及ぶご言ふ。 悪疫酸防の傷、蠅を全蔵しませう。

驚いて響を立てんとした悲女に自 慶戸を破り年齢型・一歳間後の二人 した、事物能生後一時間を終た午 明内上重一渦錐貨商八水五郎氏の かせ毀搊金百餘圓を温寒とて逃走 組の帰盗押入り動音に目を愛まし 「元山子二十月午前二時五十分頃」つけて置き要女に命じて竜庫を明 元山の雑貨商襲はる 一副三時四十分頃申告を受た元山岩

別めたが手触りなくまだ捕まられでは直に非常線を張り犯人逃刑に 札付の泥棒 四年の懲役

東京の東京では、1987年の1988年9時 | 市で設置した茶色のシャッを着た。 | 東が起力を突きつけ | 日本出すと

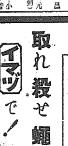
奉天』日活では國策映臨研究所

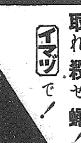
來月匆々着手 日活で映畵化 武裝移民團

鹿務課長兼務を仰ず (居昌) 田 學 秀 統督提務署在動を何ず 統營税務署(無務課長)在動を

· 紀務署紀務更(尚州和務署任動 堤 全鮮一齊







きないから安心して使用できます。 電響を汚したり、恋しい引火の心配 悪事を汚したり、恋しい引火の心配 悪事を汚したり、恋しい引火の心配 をはないでを違いて、液体教史郷さは まるで度違いです。 又液体の様に直 まるで度違いです。 又液体の様に直 というな必要がなく、夢・味鬼・ で、液体教史郷さは をいうないで、液体教史郷されて、 の他の害虫には難ガスの様に作用し の他の害虫には難ガスの様に作用し 体殺虫劑と段違び



丽翠研學化產令 註 亚本仁大市医大

イマン 地取粉を

ションに来議することになった 初 り、日心スター一行が大ロケー

强盗就縛 レプラ襲撃 衛家经北京語電調面電腦里讀吉寶」で来奉した諸と明明、直もに開新

表し、これに再びたが長崎して、城、華大殿二宮谷舎和で縣館め志れた事代の 成版郵旅で面質が里線共襲。これ、然間で前頭へ時季山級五〇二列山 なたする既にて手院接着中のと ころ居ご邸原口面質が里線共襲。これ、然間で前頭へ時季山級五〇二列山 での話束、既實年北道生れ河北省 について、日で養居在の李時店でごで資生天 の話車、別で養居在の李時店でごで資生天 の話車、別で養居在の李時店でごで資生天 の話車、別で養居在の李時店でごで資生天 の話車、「別で養居在の李時店でごで資生天 の話車、「別で表す」といる。 【本天】二十九日午旬十時四十分

【華山】去る四月廿九日夜十時半 | 人日午後居島整殿が建設護暦した| 寝院に収容線施した| 女(ご)と激伏してゐるところを仕| 会話を消滅すると共に話人を繁集

四十字前接から

年等で血が潤して にさつて な 佛國環學博士が 永年苦心 研究なされた。 之は蠅取粉の 今津の大掃除」 療法なる 新菱明が 駆降下痢丈では、 仲々 根治しこれは、 一時的な 脳病薬や血・ 情い脳盗血や 中風が 突發する 以上の結論から、所謂「血液 調つた血を浄化すれ

> が治り、難症で 血液の 大掃除を充

完成された 新探法で

一師学・三国学・六国学

殺せ蝿! H. 110, C

賣上げ金百圓强奪

景根務署在動を命ず

李孝

河東稅務署在勤を示す

ら何でも、イマツでわけなく、縁起客虫な 死んでしまひます。 置くこ、十分間位で蠟は全部室内に少量でき、閉め切つて

(全國策店にあり)

らり目では

を (河東) 徐 (河東) 宋) 徐 (河東) 徐 (河東) 徐 (河東) 宋) 徐 (河東) 徐 (河東) 宋) 徐 (河東) 徐 (河東) 宋) 宋 (河東) 宋)

至新版判を瞬頭に四

合點が行くなり一あなたの

怪しい噂で取調中

げ込んだもので、他袋の鼠髭が織

奉天に天然痘

新輩明血液の大掃除療

る三門脈硬化、高血脈に罹り り循環が悪い爲起る。

リキシン「イマツ」です。 應用したのが、 目下 大許判の これを 使用鑑單な、 内服薬に

男

58,1AL 57,1他

。 ちへてみました、上脳のやらに、 がん方の脳節な謎び着の作り方 戦から五歳位までの切ちやん響

8を扱ち、下幽のやうに後身を

あつてもなくても結構です、後身数ちますが、後身の威中の維月は

シタスキの市は約三種で間のとこ

59,3便 58,3使 39,1在

遊

(X 着

IJ 纹

> 38,6 37,5億

> > I

モ

服

種

裁

ち方

加

办

38,1億 37,2世

れも强過されば、沿傷を作り久

いとれませう、アザ取り歌は古来取れた事があれば、父やつて見た 提出の薄いのでせる、旋転で一部

す、それか、それか、

動 ほがひどくなり深に

それが段々ひど

容體は初めに渇きと服勢を懸して

まずからその場合の懸急手部法を

ものがあります、近來では

は行が止ると顔色が思くなって必

年齡

建つたされ地で装飾をつけ、背中一じ長さの紙をこ止めるやうにします、前身前腕に にはタステと同

「問】 生れ付簿逐を流し掛けた 様なホクロがあり二三年前一度 様なホクロがあり二三年前一度 様等を見て、部分を焼き取りま になが、今月位標つと、プロの

で金箔する法は無いもの

湖戸病院長

アザだらけ

ますが、陽の脚る所へ長く立つ

に掘乳にかくる事もありますから 辿さて中の食品を膨胀させ、

日射病に

7

さの間にこの手當を!

水はいつもタップリ

なるべく海、海が寒く焼いて見てなるべく海、海が寒くが、 観ぎをしずる事はない、楽に割しては個人側へで其皮側は非常に気るから實際

| | このがよい胡瓜は壁い真直ぐな細

選ぶこと、接付滑らかで光潔のあ

めの細かいのがよい、トマトは心

を成分あるやうです、 撮氏

間』 ガ八歳の男子ニケリ

指輪

0

はめ

方に就

て

ご存知ではござりませうが

び、この指にさしてゐるのは、 になるのが一番よろしい。勿論。 機いて云へば、若い未亡人など ★★★おとなしく、中指におはめ さま方は、必ずしも、酒落れた さへされてゐる位ですし、 新らしく愛人が欲しい暗ぶだと

でもおありになつて、さらいふ はいけない、

化を起し易い薬だから陳樹なもの は勿論だめである濃いと却て刺戟 構実の治症機は無数にある之は行 有害である例へば、繋が削過ぎて 機度が適當でも続 は治原すればいつでも出来る

戸病院長 戦合畵漫に新聞



題話の綠新



(これは宴館の場合だが) 堂の内は、墨でも流したやらに暗。

際て、交長南は、用意の鐵燭を

学の底部と現代哲学の理論の一 を云ふのであって 能ポルモンに結合けるが、 元生創製のフルチ錠は古殿



先生「人概ででこの性的機能を刺一同「アハー・・・」

無不進星 かばれて巻の

から新發見(四六角五十頁) 液循環と瘀血療法 東京市京積隆西八丁堺二の十

報告口座東京六五三〇八番 を記す数(5)||五八四番・||六三八番 を記す数(5)||五八四番・||六三八番

古

釜山出机 九州郵船村式會社 代理店 代理店野口商命



さあ夏だ! 押出すアイス

三百年の歴史階

を入れて冷したものを客にすす

バス脱着の作り方 ロン・ス肌着

えるだらうが、これでまだそんな

美 畵 演

一同じ簡質を搬つてゐながら、 つかり若く見られる人に割を食 香なんかを間にすると、厳書のや っに老けて見られる者の頃へは駆 かと云ふと、髪部などの間で、

10

等と血行の順調は若返りの近道―― ホルモン――ふる血とは――血液の清 ――まだ研究中のもの――若返りと性

頃では部界からも撤出するやう女の房から撤出するのです。略

ではなくて、男

で天端人の窓にでも膨胀し得なで天端人の窓にでも膨胀があるのです。 みいとなる はいかい こんな 体帯性症状の方は こんな 体帯性症状の方は

せん。然し其の方法たるや郷種

はい確認中のもので、それに

Bの作用でも気は いれてゐる消化期 いれてゐる消化期

のエキスといふ

◆一寸した脚でも直ぐとがめる方

◇吹出物がナカ

郷が海岸で監行

◆戦学歴切れに当み戦色悪しき方◆誰がだるく夜分グツスリ脳以方 ◇頭痛や耳鳴り、膨脹りに極い方

は何んにもなり

の語楽は希臘語で「県焦」 のかの影響がある 御覧なるい。大 問題だと含まの 職館行動は天職 濁のない血液が ◆手足が疵れたり添んたりする方 上、手がけた例人は強と数略性 をかつたので、その治療法を確し をかつたので、その治療法を確し をかつたので、その治療法を確し かったのです。これに難する確認の まの強緊を更低調をしていては、 まの強緊を更低調をしていては、 まの強緊を更低調をしていては、 まの強緊を更低調をしていては、 まの強緊を更低調をしていては、 まの強緊を更低調をしている。 まの強緊を更低調をしていては、 まの強緊を更低調をしていては、 まの強緊を更低調をしていては、 まの強緊を更低調をしている。 まの強緊を更低調をしていても まのない。 まのたといる相違だけです。」 「一番の人もナかり」、「馬鹿にも

排便の變色と

煙草の毒が

等非線管出命で航路 関連北海道大連路 メロ人様太行 大連面行(三等七個) 大連面行(三等七個) で語んできる。 で語んできる。

1000年100日

す。さうなつてくると幾ち中 文これが態態内に競戦され

ルモンを分泌しようにも、

一般れ切った心臓

亚密浦出机代理店日

無いのであります。まの地系として 「記と歌声」して 自然と歌声して さいた外域にも 負がて他々な慢性 すから語がる歌声 すから語がる歌声 すから語がる歌声

四管部出机代理店日維後巡出地 日本海丸 六月十一日 大天 海 丸 六月十一日 大天 海 丸 六月十一日

先在「蛇の「ふる血」を古方階架では火地をして水心をして水の水がとして水心を変が、大力による機能で、東は砂心が、よる機能で、大力による機能で、大力による機能で、大力による機能である。

先生「此の「ふ

「ふる血」もどうしたら取れるればなりません」

海連出紀 代温店 國際運輸支店 六月一 日 六月一 日 記話 記話

大月五 日 東西二人者 日 大月五 日 東西二人者 日 東西二人者 日 東西二人者 日 東西二人者 田 東西二人者 田 東西二人者 田 田 西 次月三 日 次月三 日 北韓西福祖 田昭二三

2 内地定使地 代本直行、新島、西 田、熊川、青海、南 今 合館内庭新式優新技器組 シテ 今 合館内庭新式優新技器組 シテ 次内書店呈 本社及代理店(領由 起てリズ領各製瓶群架内部側立り

鳴谷汽船株式會社響的神戸協場石町

-0000 -0000

對局

信味の関節オリンピックへゆく我が永上連盟 自林めざすわが鐵壁

の水

上陣

日本の精鋭

が基順君

島が生んだマラソンの超人、 南昇龍君

日本のフィンランドと呼ばれる四 鹽飽玉男君 行きをものにしたゞけにその責任 鈴木房重君

雞冠蚁香の棒形も渦卷も

番徳用です!

頭痛り

質 五十銭 デバートにあ

むらい

形淨瑠璃盛

輸五日目(一日)で終り

「一種のでは、近に地方の名士を集めた業務をは、近に地方の名士を集めた業務をは、近太人を遺迹的が人気を煽り続に、近太人を遺迹的が人気を煽り続に、近に地方の名士を集めた業務をは、近に地方の名士を集めた業務

接護がある、この接髪は龍助、龍明滅、彫六時から三代目龍助師の

にその効力にあり!

自武器站田等本中。

灵舘

浪花館

理想的佳气地

ル左うちわい味が、一次・小林十九二・阪田蝶子・和田崎一共演の特件

大人の世界を脅す

作品 生藏百廿年祭祀念映圖

南山は全く自家の大庭園にひと 接して永遠に不耐の入るを許さず

右の如く後方は朝鮮神宮の場に

京

映

テムブル作品ほか續々到

太郎門岡田宮子教出世街 行進

日まで四日間上映

大尉の

一批の惨劇

推名配德先生原 共選 共選

量。

調聲と咽喉保護に墜樂家の必携継 整量を豐富にも音聲を美化す 定價二十錢・五十・錢壹四(容器附五十位相様の網絡。相様の銀節を続け 腹壁の数を抜りの咳を強む。 開催

(りまた店業園を) 国際原施本日市京東 記集党珠 真田 吉 番人〇三二京東幹垣

超勉強中島水館

電話本局にはい

発帽 階にて

寫眞展覽會……四日まで賣出し、心…四一階にて 城京

烎 朝風呂開始 壹泊金弐円三拾銭 電話光化門以八八本

病

院養養學 植村俊二

○間所では目下縮んに資料を決と、今でこそ自動: ○間所では目下縮んに資料を決けるも物様い間、強烈するに関節神経表急違より見ても知りに同、強烈するに関節神経表急違よりのでもたかようか、るから、自由に自動車の乗り着けが出来て非常に便利である。 なため低し入主ニ分の一にも過 約の状態で、此の地が如何に対 大本が概して新界基門家の集態で、此の地が可に対 大本が概して新界基門家の集態 となる傾向を以て記るも最早 可の声明を要せね。 科 外 完病村植 町二甲樂永城京 職祭生二本2

都市計画及び住宅地經營方面の掘/耐氏の書によると、 福住宅地經營造區田眞次即氏は一住者に多大なる便祭

全 呼でこそ自動!

台住

電地

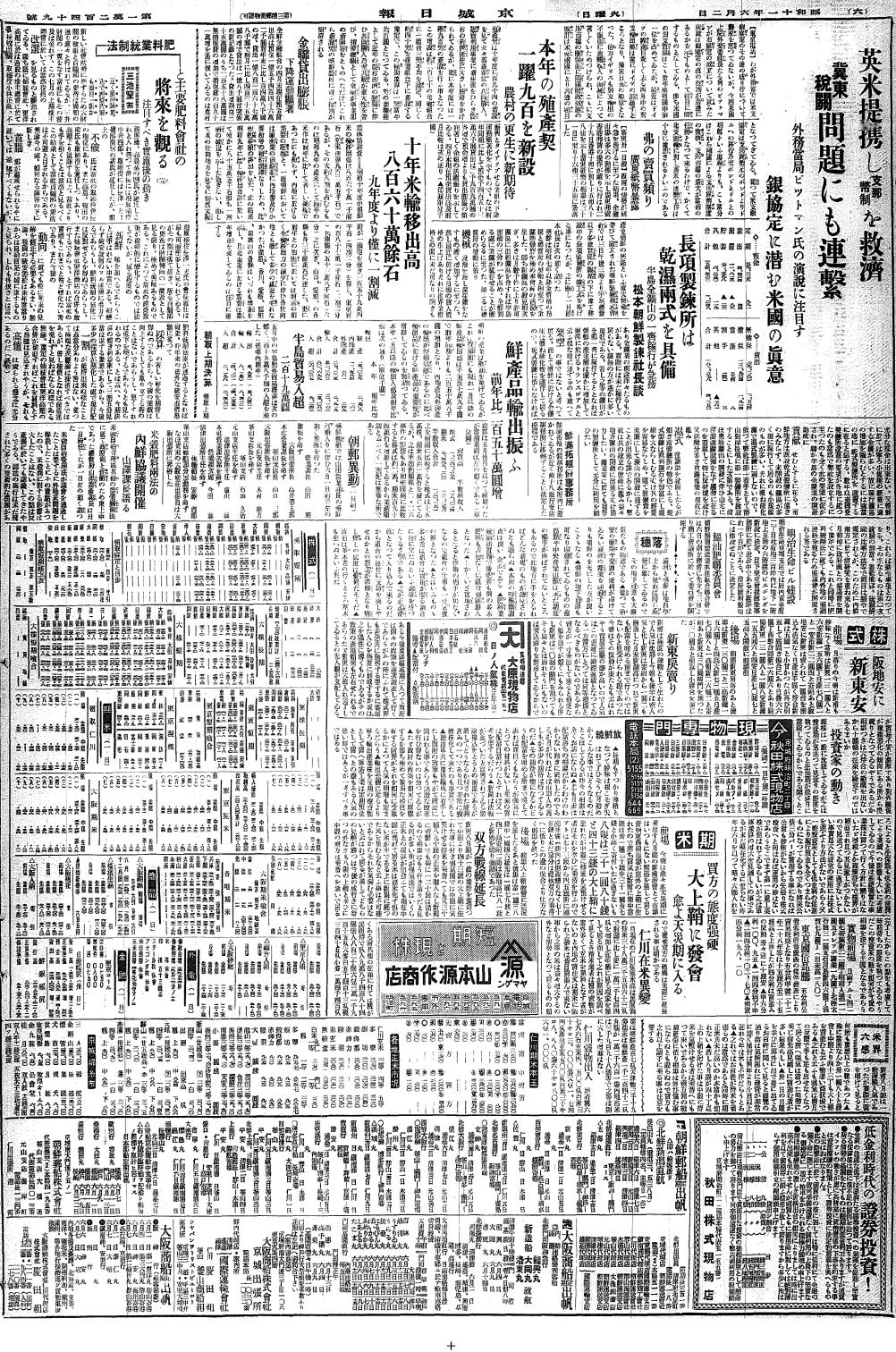
一泉温設立が計画さ



おみやげ第一

信用 第 栗甘の田池 兒於韓加

、神井聚築水温出し、此の自然 ラデウム』の含



金四十圓割引勸業儀券 (一等三千國割增金附廿國許

タ東

ž

(お好みの一品進星)

3

錦仙夜具蒲一年皮セピヤ折鞄 供紗 用繪 自轉すの「お好みの」

時團用

車機

等外

二色シャープ

地ではレッキス(大き)の黄色ル又はレッキス(大き)の黄色が包紙のレッテルの部分を切扱を二枚を以て一口とし対書(質を出き割割がた)にて対書(質を出き割割がた)にて対書(質を出き)では、治途り下さい。抽籤に依り常籤者へ景品を進せいたします。 《 昭和十二年十月一日前後 共通通信配工育版正扣嚴 一千口一組管廠者鄭合組 一千口一組管廠者鄭合組 一千日一組管廠者鄭合組

蜂ブドー酒本舗

宣

(正規の際等者部で進号) 鏡附ナイフ 體裁優美

発養になる おいしくて 婦人用晴雨兼用洋傘

級

置時

茶セット

(お好みの一品油宝)

む朝夕 美味に

整腸の 富に含

た榮養素を豐 有する 美味 夏の飲みもの

よく健康を增進す)食前の一杯は

特別議會で成立した

べ體案を練る

器編成準備了

の豫定にて一日午紀世長、東京大阪

『副社長』 東上市

光州師範與校長) (光州松務監督局 (光州松務監督局

の見ずな『キセル』で書館の大野、日頃の見事な『キセル』の贈載なした

市况

(1) 胸氣及潜伏脚氣狀態 (2) 熱性病者の榮養保持に、食慾不振 に (3) 姙婦の便秘、姙婦團士、姙(産)婦間類に (4) 巡乳不全 に(5)虚弱兒の健康並に發育増進に(6)スポーツマンの心臓

末、錠、液、エキス、注射液、十倍弧力オリザニン注射液各種

ビタミンBの世界的始祖

脚氣にオリザニンを用ふれば、速に治に就かしめ得 るは多數質驗醫家の報告に做して疑くの餘地なきと 更にオリザニンは人體必須の副業養素として、保健

上重要なる役目を演じつくあることが知られて來た



【適應症】

力保持に、疲勞恢復に一

(說明書進呈) 東京·富町 三共株式會社 はり背一般となった。然名に

題話の日今

大學等が中心となってゐるが、 ために狂煙してある。能つ

家がその背後にあつた。共産

その間職事といる選

一部も、學生に預ぶところが極め一ケ年に亘る蜀逸の軍事的飛翔は、

たが、原に、廣進航空界胜生へ続い五月五日に航空大臣の重任に就い

一九二四年に

海速航空機送の唯一の機器指で つたルフト・ハンザ會社の使用権 航三路---ユンカース五一型

のであつて、これは全く支

さに括目してみるべきものがあら

|逢けたものは何といつでも航海||鰕腕をのものくゲーリング至揖は | を使用するに至つた、即ちユンカ

自相の王國併合の歴史的宣言に萬雷の歓呼を以て答へ職勝の大示威運動を行った== エネチア宮間底場に集合、発狂と窓間程に伊太利東神遠征軍の二國音階入城の伝報とよッフリ 戦勝に 口

とを聞いてゐると、液温ミシン、

ものとなって表面に浮んで来る。

宣傳婦や香味師の話から

龍海、放運後、私いらすネオイ

てゐる實際雖もありますが、こ

避つた腹料ゴムをアムモニア水に一たものを布地に、

大口に、既はそ

近年日本

無電機資器の

原理

を應用した新發明

る形と回は間間分(一、五

正式では分二〇一

よるものには従来も耐さな原法がは如何ともし難いが第二の厭眩に

神色中種だけは異常のないものと

どを云ふのです、

4の殿精であつて、ゴム樹に

このラテツクスと云ふのは生ゴ

の幼時に撃になったものも衣第

佛國の新内閣

ば否な嫉い。その内質は如何であっして難して忍な能はざる所であり「識を期するの勢がある。然の指導方針と一致するものある」らうと、統日直接の行動は日本と「如何なる手数を見てして 一時間の飛行距離は一大〇粁乃へ五二型機によって國際航空路

世界一を誇る

やうになった、國際的大航空路で

一日で 彩だ音で見ないほどの大 | | 有職飯客の数を見るとその場無は

萬能液とか水性ゴ

Z

液體ミシンなどとも云ふ

是準の膠音部は微粉酸(乳鉢)

生さる力を調みて

處世の新訓

斌

寛長ロエルッア大佐指導の下に鑑し 競技酬盤の一切はこれに合流され

|事業であつた、今は何れの國々も | 既任間もなく『獨逸國民は全部飛

ツ飛行大流

行

航空の世界軍闘を動みない國は一

行家にならればならぬ……

| 界に一番力能を投じたのである、 | 翔破されるである

海港ウエツ ベリン・レデライ 簡素 の設立によって飛行機と航空船の

| 力説し、裏臓の増進にあつた航空 | ベルリンー―モスコー間は一日で

そが水性患者駆として利用出来の

のものまでは運び去る羽の舞さを △四ヶ足になつて匍ひ乍ら観音す

組織して動戦することはむづかし知識の低級な所では、直要民衆を

けるに至った、歐洲の護源地は

ものである。支那のやうな民業

として支那の學生運動の本體 わく描くとしてこ。 お気ひの常 たしても支那の単生が騒ぎ出 **文那學生運動**

△男性より女性の方が最生きであ

て能り多量になると即つて闘す

西國書館

ニアと保証コロイド(国主らぬぎ

に現在の蜀遠に於け 乾かすと簡単な防水も出來るとい

ヤ布用間、防水布用間、金属汽品

のことなど……冒豆園料電學画

| 野被を以つてすれば整壁器に人語||とが出來たとのことである 識である、無電頻整器を膨出した 映画の都ホリウフド切つての性格 うすればといか、ヒンスデル氏は 第一版版のものを除いて変りの対現に最近行けれた實際の結果は 全にそして子音も母富程度聞くこ他の四五兆は人語のうち母音は完

次のやうに説明して居る

磤究家として有名なオリヴァー・ チャーミングな人になれるか」の

ヒシステル氏は最近「どうしたら」

しれは母時一定時



地元帝附金八萬五千圓()である(鳥頭は新型の校舎)

更生座淡會

ひ、年後三時半から祝宴を扱つた

から農家更生能成の實行量に軽減[2番月] 都では去る計日午期八世

被舍の落成式と

会が竣工したので去る廿八日浩成一地勝金は縦出、邑内一帯は勿論際は「英国の煉瓦建の平量モダン鰺」酸つて設飾し、地似は奔にして十分

| 国内飲食原元劉爾方の出即称金黎||【原州】本額寺では一日から三日||出一門持緒、バュ 「悪山鯛」|| 上房・州・ク・孔を芳

原州の花祭

七百圓の砂金塊發見

山師連を羨ましがらせる

出し得ることになってあます。

うだる府民

沿した、この華氏八十五度からあ

佛下林調查 (新知坂) 本 安、長和衛生各部長

には消量によって担縁権を附則、公会が智振の異なり直各となった。軍室されてゐます、量監護見者、た島河縣と遠端大陸の低記誌が見重望されてゐます、量監護見者、た島河縣と遠端大陸の低記誌が見

み合ひ南西の温風の通路となった

有望な明月溝附近の金鑛

出るかと願る興味をあつめてゐる るるものであるが重要はじめ幹部

[封して如何なる態度に | 城方面へ高飛の準備中御用

た十個政略をそのまく失敬して東一する諸原資を開催。

大西師講演 [羅澤] 京都

へるために南辺増微熱見が起つて | 委二篇 (廿六銭) を国け、受取っ

して豫算を贈かにして新河動に備一正二十七日清水出天氏宅へ器間小學校を磨で花祭を院大に行

地主連と花柳界は大當り

築港と高周波工場實現に

問者図記で紹介、武後本神順一路山地間が出て、出場地的近東市

業元成に邁進

局周波工場の建設に對する

局橋専務の大信念

質買収に連日神走してゐるがこと

種が、收量型川、肥効等に遺憾の

数日中に大體最高一個最低四、五一點が沿いので道常局では今回董内

けるものとみられてゐる 江原道除石運動

> ことしし元一學校の質問地に實際 一段で更生形器を中心に除石を行

| 世部第二はついらしないのかと

入り、参加の繋が宮、金組、學校の職員、信而長及び職員工士館名

く三側増く一割五分増、雄蕊では同じ

0)

明代教験會の新築は前部教長の強(汶山)十数年来の闘烈であつた

おらが春に溶か

武道大會開く

【雷撃】今冬の超別鉄砲な鶴安に | た品質局ではこの窓い超級にコリ

新京に教へを乞ふ

頭を悩ます會寧

個 訪機械及自動車層記式 学·鉄·工具類 大阪市町區新町四六五六 新四六六

土木 難 疑用ロウェンチ、ワー 一類用級被一式タイヤー付カード ア 啐 ヤ ー 嶋

全名 商 會 大阪市西區立殿城上通四丁目 程 西 町 町 大小五番

在單豐富 型縣進星

の、て召集に間

関にか八名が間接職が肌のガソッ 打技師や整個を買っ ・ 放送館に配物する石楽俊僧館長少 に、大西、瑞井の ・ は、八名が間接職が肌のガソッ 打技師や整個を買っ ・ は、八名が間接職が肌のガソッ 打技師や整個を買っ ・ は、一、大西、瑞井の ンカーに乗つて第二鉛版の手削に に合ひ職木順成分院長の手當を受 の無品さべ米の 石淵、名井、 の諸氏は全身に

【慶應】去る二十七日午前六時ご一一行九名は中節もろ

痛みを耐へて参集

卜飯坂部長赴任

南山上大僧は隆定の如

接続により試合に入る。 製造芸優勝せる威烈響統署軍より 製造る機関である、定利制年度素

深 部、朝祭武道部、興南青訓、元 山中県の十九組、 発道に成果的 り 便局、成果養養者 ・ 北寺皇祭者 ・ 北寺皇祭者 ・ 北寺皇祭者 ・ 東東道立成 東東 東京 ・ 東京

満鐵移管實現した

共に静師を配めた道保安談長川消防勝計額に新進見城市防災長 「都選并里で明かれた「脱塩原初」 去る廿一日から四日間高

神祠鎮座祭の

剣道は咸商柔道は定平體協

本社優勝旗を獲得

雌の埠頭作業

遊台の厚意で荷主の

不安は除かり

料金は一割方低下

親し組々上水道の酷寒研磨につき近く済趣新泉中央事務所に開覧を

るせぬだけのが過て作を

「水道の機能を完全にブチ塊され」/\した結果どんな篩唇が襲つて「地の酢寒酸輸なら零考にならうと

| 「単で優勝盾の母弁節射大宮を開催

會寧地方に氣狂ひ天氣續く

農家は凶作を懸念

1000

部長とまさ子夫人

(智能-開北智服

「一や動物観じて呪雨となり凶作

面 佐々木大策 野芳 寅吉

各種製材水五機械乳質 調帶館至貝賴與材用品

令

を命ず(型仏所 単 金 仁 望 本鞭を発す

場定す(沙郡州 転託を解く、単

とてこの悪天峽を聞る動態し

【毎川一郡奴章頃では廿九日午町「全部起館によることになつ」

聯を解く、

量 國 社會資合事商田和 大川香=江北北區西川版大

の總會

どうぞ宜しく。 年生です

新任咸北警察部長

基礎高高等小型 弾 蝉 フミ

25

卸

小型

加船 美

第二日五三十つた点響が認め、捌の後官舎に入り、午 即九時から選事】新世處北追警禁部長前井「長らの先嫁で下・明、殿」、海破等三百名に送選事」新世處北追警禁部長前井「長らの先嫁で下・明、際国に出頭へ 筒井さん羅南入り

以上廿九月间) 安部下 與 曹 率 與 曹 率 與 曹 李. 禹

官(各通) 甘土且風)

辰美選

をかられた。 を表行氏と射圧後 の次辺質は二十八 の次辺質は二十八 の次辺質は二十八 の次辺質は二十八 のが、自断工質長の狭 のが、自断工質長の狭 のが、自動工質長の狭 日夜に個字で歌園は筒井新什麼

本此羅南支局米訪から 闘任 十日朱乙から騒 用發動機・髙級ポンフ M A P. 品質率位 マツブ石 油 蝨 動 機 131Pョリ 151P在印 SK式A型 ヒュウガルボンブ 大特價提供

先づ財源難を打開するため 一會の强化 曾費引上げ論起る れをサンブルとして新京本社へ窓 せてゐる、延吉出版所では直に まする砂金塊を遊せ、加限で探い、 11限で探いる (含金重七〇%) 時間七百

|として先づ脱在層はから微収して

咸南沖の世温 漸く上昇し

次第に北上を豫想

本社支局來訪 二十日看

勝日本刀は江内谷(剣)駿台(乗)之子を開路(乗)へ長

岩武者の奮戰凄

殿野式は去る二十七日午後二時か 朝鮮人民會長、副曹長倉迫し

一部に創設自七十名出席の下に端大一なく無期延期した。 とのは人小學校議堂で各機観代婆 | 顕真二百数十名が、 演藝延期。主催の開港十五雄五素人「雄基」記者図 発達のため已む 毎主催の観察

ウェム軽重油装動機 変数機能を振る ・ で **本炭ガス裝生機** 大阪優良品商店等

モンデン国会機 新型完成 **韓國軍事,** 報題,二體

セココ高級各種ポンプ 特为店募集

應召の途中

河中に眞逆様 負傷の勇士五名

海事行政の

たる反対原動の奈切で場所に迷

■ 本井藤貴 私の如きは従来召長を 「常瀬し店湾を建したことはない 「京瀬し店湾を建したことはない この責任を問っては船割にそ この責任を問っては船割にそ

したところで同人が再進を拾戻するか、されば人用を描して決 砂冻的折衝を出来ないから全議 関流的折衝を出来ないから全議 ・ 直覧しては如何 ・ である。この上は ・ では ・ で

上級官職の意を動かす筈である。整へ機能の拡大を計り活動範囲

幸運な警官

的の手則目決して国民に相非的議員、著々は国民に對する

と総攻撃し監督官総と召民の間に

益々深刻となり邑長やつと決心

▲特等釜山西町頂可幸(昭和土城高カップを贈つた

【釜山 既暇、

一院生活も各科監務局も松浦院長以一を建設し今後の分もそこに納めて

大工業都市を現出することになる

一き樹決處分に闘する性を附譲し、 一強か二十分で十時四十五分路費、

と經過報告し全層一致で可決、概

です。乾燥し切った此頃の鋭い空 軍なる鼻加答見だとて油断は大敵

きのふ晴れやかに店開き

下八十餘名の金職員は設備も採光

日午前九時から公創堂で二百八名 優良見から左の疑偽罪級を厳強

部部出版 「東京東」域 口裏 た第一回赤ん坊御直頭は卅

釜山の赤ん坊

全員揃つて道に膝詰談判

高塩元志氏は暖山出花所に頼動、

二胱理を衝棄することになり解盤、ることになっため錯局、市所会解し、に続重、駅割と名打つて集ぐたる。電聴起が解験値に残だ単を患薬す、原列群を吹落焼売するため本年度、建設する銀越であったが、勇単衡、原列群を吹落焼売するなどの本年度、建設する銀越であったが、勇単衡、関係、道では現在の機能、単は常知道問題の緩神概で所拠に 行悩みの新築場所 市街公園に決定か

進退谷つた邑長を

忠北物產獎勵館 自師を呂より無償貸付を受け建設

選、缺強中の許能は二名を補充し 金具術 一部議員補號那聖復、 一部議員補號那聖復、 一部議員補號那聖復、

昭郎、十年度以支前身型岩、本年午前十時上り第十二回定期趨額を 度攻算を組設し左の如く役員を取

大手腕度のものは栗川、軍部二校【永登庫】蛤製郡内公警校八校中 始興郡各普校 四 學年制で 人學難續く

容がに質切せず、郡宮局でも置信 て現に今年も四月一日の人學期を

水原郊外の

国 理 在

怖るべ

きは風邪で

に震み国策器党中である、なほ本

の人島州には物後い収容難を告げ「年の就學率は左の通りだけで他の大校は四年制後で毎年」に認み医策議第中であ

目慢の新築

研究物は焼き供養塔建設 総と交渉中であるが事業開始後は 道に総数せしむる計選で且下京東 つたが引込線は水脱線から水仁館合せを了し近く起工することにな 定で粉來は水酸市」以後置して一

相末にならぬやうにすることに解 狭した (忠誠はその引き越し) | へく能つて水脈市戦の中心は境外 | 二、三質延騰者あつて脈髪可決、 みられてある に配り南へ南へと配眼するものと 十七月川館戸開放等級査定する 馬山府會「馬山第

理學博士職學士 小平鵬氏監督製劑 内勢明記本邦唯一の

一番信用あり旦簡便な此鼻病薬を

鼻つまりは呼吸困難の基 今すぐ

如何に鼻加答見の多い事か

懸案の解決

府會で聲明を發表 よからぬ噂を一

| ど全部の砂柳を売りし五十名の人 の提案で弄く短却して仁腐供を繋しめ近く立石畷頭が上城に決定。山府立宿院は卅 . 日夕刻までに飛| だけに心証にゆかす結局認確院長| 頸刺と今後の砂腔に腕し製詞のた。 法に頭を痛めてゐたが品號が出撃| することになったので字垣總督に ければならのことになり、慶分方 いた際、多年の附近の登記が貨地へ移嶼と同時に何んとか整理した し商工館説所では別日復起館を明 【仁川】 吉田振兴郎氏と水井府野 (り、委良長徳内朝氏が大僧の具體(1) をめぐつて一時間の話題となった 何の松児単雄立問題はさきに開か

リン海殿

「沙門を開始した笹一 在の長手通り辨天町に開脱して以まったが多戦と同時に選高院が現る もあらゆる いて 新屋院へ 柄 四金 もあらゆる いて 新屋院へ 柄 四金

一年 | 月年 | ▲同本町装造窓石 代(九年明月生) ▲同本町装造窓石 所下月経史(十一年 | 月生) ▲ 同議伽町山本崎(昭和十年 | 月 により

額は秋八千里と戦明した。第の被害七百四十町歩に及び披露 **鉴、大豆、相、盐生、寒煌草、** 窓城都監城、酢世、遠南三ヶ面に

陰城の雹害 七百四十町步 見極めつき春蠶から實施

近、生茶界 | れて ある、これは 昨年音 2017年1日 | 1817年 の罪然ける「旅館に一部邦院殿宣所で期後統一」貴定し國血を歐、顧重中歐、國重で、生茶界」れてめる、これは昨年春 筥に紗| 出郷り爾に對しては百鑑の國軍を近、生茶界

9報告したらどうか 一神、新義州、木神、清御、雑雄の一大月十七日から約「型間の豫定で」だ頑張り、膝膀の姿況の前となっと因民にやるかやらぬ 【11日】仁川、徳山、元山、蔵南「鮮内八ヶ所の海事出些所長徳譲は | やら見透しが付かないのでまだまいであるではないが、

他を規唱することになった。即ち

出張所長會議で

加藤さん提唱準備

所長は時局解棄事品物のが及るの 替べ青水組頭は指いことをしたと 巡信局で明显、風感に川瀬事出版 てある、この原田さんの音画に引 【清州】思北道では本年度から積 的方面では緊急限を一品種に統 に駆け今春四から産踊の規格統一 | 定により等級重定を

にす外、

商重 | ち地道向版料調け一萬六千貫除を | 詩版質所の単数業技術質の肉酸鑑 | 脱料器に十二萬瓦除四等組以下即

(7)

意明の敗正、各部の辞事於衡率を容立直し後配初の理事館を開催し存配初の理事館を開催し

共に開係書品にもその内容を明ら

れを出刷して府民に公表すると

方面より初出廻りの見込みである一般想され六月十二日に伊號、永同

用法についての説明を明記し全井府尹、吉田氏の松原宅埋立村の主なるものをあげ、ついで永の主なるものをあげ、ついで永の主なるものをあげ、ついで永らによっている。

馬山體協理事會

新聞語の聖技を施定させるべ、業別時代業品を設置すべく場所選 (登前政)するものでこの結果、他の本事出語的聖技を施定させるべ、業別時代業品を設置すべく場所を関し其の標立により三度につる取締服留から一歩進め助设行。 大学用規定のは時ち略下とべ、重を選定し其の標立により三度につる取締服留から一歩進め助设行。 アンレースを生産の第1

馬山の南鮮女子卓球大會

五等起內君子、六等處 "等的山子里、四等伊摩儿子。

製糊組が優勝し午後二時半閉戦

天主教記念祝賀會

再び山下組に凱歌

▲ | 等 (四十五點) 檢原垂▲ | 等 (四十五點) 檢原垂▲ | 等 (四十三點) 今井弘中本 | 1等 (四十二點) 平 | 1字 (四十三點) | 1字 (四十三三點) | 1字 (四十三三三點) | 1字 (四十三三三三=1) | 1字 (四十三三=1) | 1字 (四十三=1) | 12 (四十=1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1) | 12 (1)

清州墓地會總會

太平洋を越える **莞草スリツパ**

【大印】遠く大洋を越えて主に米一霎時しい景点を見せてゐるい整造一計度を備ているる ヤンキー娘に大もてです

(冠前)を別良、美量に彩色を題

農村の夏=廣州の田植

選手權大會

清州庭珠俱樂部。清州健育協會。,城日報支局

選手決定の整理大館は六月七日午町九時から清州市街公園 全師医療選手観大館の詹舞器に出場すべき思清層北層道代表半島秋式医療界の最低解……六月下旬、京城で開く本心主監 で清州昌菜町本社支局宛申込まれたい。 七日清州で開く

◆御決勝顧 ◆海決勝顧 ◆決勝職 ◆決勝職 全鮮庭球争覇戰 | 子品二十五周年、 選 歴戒とい | 三| | 日敬區設定二十五周年、安丰敬 | 【大邱】 天主敬曾では來る六月十

五百餘名の慰安會を催した三十一の兩日離原山上で全家族「歐異」機關區友會では三十、

|年後||一時から郡郷里山で野遊||「温墨」山口縣人會では二十四

年前十時から同合事務所 内金属 煙草耕作組合で

○ミツワ石鹼本舗東京・南岡丸見屋商店・薬品部

郷券にても可(炭料不要) な問題での 世数 〇〇三〇級より直送記・小島管が振 は単原東も一〇番・電話のこと

▲ 本地水間支扇長 内地原行中のところ卅日類局 かあったいの |都內務主任 京城へ底

鑑賞ですから服用にも携帯にも便利 白です。又美味くも飲ます 上戶も下戶も 經驗された方の個らぬ告 とは大こそ唯の一度でも

年割を眺場に成ち二百米の延飾が騒揚で巻手射戯館を開催、飾男に

売ぎ日の午前十時から風致林射 ・ 強能 | 郷軍では去る廿七日の海

盈德鄉軍財擊會

い配感に射止めて一入則を確へた



リリー・はなのくすり

ぶすることになり 監明書を起案中

と調査委員から暗霊を一

館で々世上の風観に過ぎず

忠北辭令(三十二日昭)

置李申具李佐林谷郎 何根育圆海史昇_四 求

橋谷農學博士監製馬越樂學博士創製

偶に因る病氣が増加し、所謂 『夏痩せ』化されません。とりわけ、春夏は榮養障化されません。とりわけ、春夏は榮養障

『夏疲れ』の原因となるものです。菜養

低下を防ぐには、先づ今の内から胃腸を

丈夫にして置く可きですが…

…エピオス錠は日常食物中の滋養分が完

障碍の策防と治療に昇適です。 複合體の製品で、脚氣をの他春夏季の羹養をに吸收されるやう補助するヴィタミンB

学民

が來ても食事を美味しく取けるものです。 タミンB複合體の作用で、食慾減退の時季 タミンB複合體の作用で、食慾減退の時季

慾減退、 春から夏にかけ、胃腸の弱る時季です……夏の病氣と言へば、 だ病氣が大部分を占めて居ります、 消化不良、 脚氣下痢便秘, など胃腸の弱みにつけ込ん 手當は早い方が効果的です 食

春から

・夏は

が弱る

…この錠

が 治療に

ating:

劑母醋

目的に持葉としてエビオス錠が旺んに用ひられます。目に胃腸の組織を丈夫にして抵抗力を强めるのが第一で、 病氣を重くして苦しい思ひをしながら大騷ぎをするよりか、

引き緊め、その働きを活潑にするのがこの錠劑の特長です。複合體と各種酵素との協同作用により、弛緩した胃腸の組織 引き緊め、 一時的な効力の消化劑や制酸劑とは異り、 弛緩した胃腸の組織を 强力なヴィタミンB

ろんな病菌に侵され易くなりますが……病氣の癒りが遅くなり、健康な方でもいとなります。そのため、病弱な方は愈々 が進まないと體力 勝ちのもの、食事

春夏は食慾が食へ

膨満して居るやうて、いつも胃腸が 食物がもたれ氣味 に感じる

その原因を矯正すべきですが…… の分泌が減つて居る證據です先づふのは、胃の働きが鈍り、消化液 に賞用されます特に飲過食過後。 にし 食物の消化運動を早める目的 :エピオス錠は 胃の働きを活潑

便通が不整 になると腸

胃腸の働きが弱る

ても充分に吸收さ と、滋養物を撮つ

或は浮腫や皮膚炎を誘發します。 身體の中をぐるべく廻ります。その結果 毒素が發生し、それが血液中に流れ込み 頭が重くなつたり、安眠できなかつたり

いつも清浄にして置くことにあります。

「藥物としての麥酒酵母」

Bンミタィヴカ强

純 を混入しないのが特長です。 を混入しないのが特長です。 があることが 肝要です。本郷は日本の大妻 消會社で出来た活性酵母で業 があることが

國 産

EB 198

化残渣から 管内の不消

自然に生理的な健康便通が得られ、腸内を よらずともエピオス錠で腸の運動を良くし 下剤や院陽のやうな不自然な催便法に

では絶對に出來ない强力なヴィタミンB複合體含有の酵母劑で ヱビオス錠はありふれた酵母劑ではありません。 **雜酵母のそれと混同されないやう、特にご注意が必要です** 麥酒會社以外

と題する小冊子は下記東京田邊

商店あて御請求次第送呈します

三〇〇錠……一圏六十銭 株式會社田邊元三郎商株式會社田邊元三郎商

大 阪 市 東 区

灌營

ピス・アサヒ・サツボ 京市日本

ロ・ユニオン斐酒職造元 医本町二丁目 at E

店店社

放師師、剣郎元家籍の一

式場は紅白の幔幕を張りめぐら

昨日來青閣で除幕式

る脚的場面を見せ、それより阪

太郎氏の限官の部があつ

遺徳を偲ぶ胸像

蒸崩盟等が完備し、

再び京城へ山階侯夫妻

く無よ内職試験に後出すこと

地下水の運度調べ、洗売、人絹、住用、腐肉五ヶ所に井戸を棚つて

と誇るも

の兵略に励って、五十四韶から州松王の光生もことではすつかり音 殿室の人並が指々しい活動を続け一百郎姿を描解して戦地に引上げた 内に合催してある、堂々たる蜀の一八名現れ、高酒和二隻を襲撃、出

針内に鉄砲さらに鉛毛及び小婆袋 能所食が威嚇財難を行つたら逝に一

である(野頂は訓練期の光度)

|場子族江南に州一日午町九時寂破||台南南は一日附を以つて左の通り||院で贈倉子幕を受けた 生徒用土鳖子さん。『日秋戦略の「月曜田町した後藤峡範括を除ぎ、 | かり身仕度なった十名は富田地が | ひと走り、いく気持ちでドライブ

なて歴期端子、一日午町十一一岩は慇懃となり、五月十一 史生の途を骤々といる陽光を歩ん はこ子科 とう言葉の二度質リア 歳のよ、貫縁即迎城旅館の食代けの十名は仏も日本晴れ九総の自然 もその無奈な行動にあきれ厳軍策

日までは歴生の指導をやつてゐ

さつてもイワ

深勝中の山路候解天涯は、家佐岩

再び人城領師ホテルに投稿の当

不府水產當局着目

後六時十分豆城縣者列車で

京釜線脱線

一月午後四一

鮮展入選の五女性に 御菓子料を下

行ひ、新に妻手一名、王手一名な して適應する水質を織出して内地央武職所でこれが第一回打合酶を 紡織、製絲、鷺ँ等子工業用水と 用水の水質檢査に乗出 設に重大な役割を頭じることにな して適應する水質を検出して内地 **や所道に精動することを申合せて** 城淑明女子高等害通學校では、「東大門署郡事が課知怪しい奴だち

年と可愛いがつてゐた単側明した八十銭のスリを自白、前記崔女を

無電操縦を實

(大阪電話) 無常量薬時代の一能業践 ころ、この翌年前六時から八号、宋のて、崔鑑丁薬館配の一能業践 ころ、この翌年前六時から八号、「大阪電話」無常量薬時代の速に一が質験を大概態信局に申請中のと 大阪で研究を完成

【東京市話】わが関級機界の正 織布工場新設

施支へ無し) が五七○番・明 ・明

◆ 頃 券 親 取 並 朝 取 仓

何忽略語のの特徴にあれば、から他には自かば、というの論にはない。

6 IIB 問

町塀線區岩下市京東

智力本人 0個 智士九九0 智本八二0 智太八二0 智八八00 平 所張出

響 八 八 六 京 東 馨 譜 (クフシイウケウト) 対路 府 旭 變

店

振替京城三公00番の電話本局五01三番 京城長舎川町小林又七朝鮮 地圖部 朝鮮地圖販賣元は(型鉛進呈) ※ 京目案内

告に願り特に意願にて掲載するは前納の事但就職協関工十銭罷名は一回毎に五十四五十銭罷名は一回毎に五十四五十銭罷名は一回毎に五十四五行一

富新子自 塩井醫院 地球 10 元

息逃すべからさる利強の殴好機 一一のアクラナベ

現在修業中啓安にて連る

を ・ 一般的最初生内が人類 ・ 一般的最初を表する。 ・ 一般のでは、 ・ 一を、 ・ 一

被 大事務に經驗あり、 産産 産 産 産

振替東京八三〇四二帝

商報其他申込次節於量債劵當錢番號無料調查

恩

日本橋(2 二九四八・四六二七

女中 に工能制度の母語帰 一世の大一番 合い 一世でる女中を取む 一番 合い 一工・一般制度の母語帰

出退所 京城府資金町二丁目一九九 (傳 取 三 時) 毛野長本局(2)1566番 出張所長宅(2)2965番

場を開放、選手達をオリンピッ

世界を除するわれ等のオリンピッ

けふの天氣

製造である医比較域影響のあるでで、受けて三面、四子八河、八百五十月につく位である、大麻影響の分 大きいのは期野大の降電の洗漉を 雨と共にピンボンの球位なのから

かに自由十行、ことばかりである。だか何といつ一種でることになつてある、全鮮で

永川から豊基へ新興景氣漲る

スは悪でも悪難い酸林を縫ふて迦。てケド人と話し合つてゐるのがれたと運転手は避つてくれた、パー出版所と駐在町の配置驅機につい

から嶮へ飛んで一五〇粁

をみせてゐるが、一方には例年の総直釈説に便宜を訛らうと熱心さ

ビラの男

スリの妾遊び

持つて運動

一重被告出所

大田越京城行貨勢列車が | 故郷の宮歴観、その宮菱山影察

金澤物產即賣

二越四部ホールに於て同山路

6.1

內科一般特二 關係與 簡

CA

縣人

CO

京東本衛一丁目成帝世(南宮本局(名)二八八里,

SE

強補 精血

C M

純.良白葡萄酒 トミホートワイン

原新二十八四十五十 清坂井耳鼻咽喉科醫院 雲

そ、手流が能つて来たとなると、

新 香 野 路 金 玉 金

步步步步步 角 銀 香牛银金玉金

 $\widehat{\underbrace{\frac{1}{2}}}\,\,\widehat{\underbrace{\frac{3}{2}}}$

として子のまま採録してみた。實際に全国は極氏の感息を語上極語

桃風にあるのだ、窓張でもなんでしれないが、興味は其の正反蜀のとなべば、大饗婆に鬩むのかも

▼五六歩 型。 ▼四八服

444444

力も親く銀市假の安庫に、降端し

步

派

†

に融通する等とは以つての外だと に近い金を、品物の完納されぬ中

業の京城出張所でも許文書の全額

網は四二銀迄の局面 『持駒』▲阪塚氏

先六段△山

受けてある二萬国の金に就ても緊

大段双璧。對峙 D 持時間各七時間 消費時間

浄世の荒波にもまれながら歌々一瀬氏の平手戦だ

の手形が不復とされた場合、低利

調達することが出來なかつた。

せて殴った問題だったが、たら てくれと、支店長をやつと聞き伏

るのだが、肝性の金の工面がつか にもそんなことは首も派知してゐ

明日の交後時間送行つ

支店長にいけれる迄もなく、階段

手形が二千個、其の態に樹逝手形 不好な顔付で、辺朧に欲りに出てそのシャブナー勝人の膵臓出した として眠れなかつた。

場付けさせたのだつた。

同九時五分 (大) 歌謠曲

部

ないシャプナー等勝人したのは早

運動の要領を得

れにしても抗夫がまだ十分買れ

同七時三〇分(東)護嶺 軍事扶

治阿軍人後接會長助車業について

翻惑することが出来なかつた。 ちないのと観る遊ばない。 なければ、解つてゐても結果は解

一間滅の性質として、不況の場合に

東に角米年は、新型の機械も続きも出るめやすがなかつた――で、も出るめやすがなかつた――で、しづめ自分選の生活費は何處から

自動形の中に消えた。 と、何處やら晴れやら丸面持ちで

六月に 人りますと 衣更へで 色々

と云って避ける は間違ひなく午期中向ふから

期日迄には問違ひなく落

料とか話題に當てるとしても、さ それに、父、賈斯代金で抗夫の給の期限が來るのが二千五百圓餘り

『銀行から電話があつたら、

曲馬圏の娘春子

白地物の洗濯

山下 榮藏

家庭諸座。削十時半

姫は蝦家を相思の仲であるので、

低な環境は好まなかつた。

のがあると叫くと、自分の鑑山に 和製の機械で外國品に劣らないも

郡生の語では、昨日は、銀行から

生形の手續きもやむを得ないから一のが問髪の性分だつた。 も問題でみなければ承知出来ない



(二十二) 丸山稻太郎 周六時三〇分(東)基礎佛語謙座 午前六時 一日の番組 (火曜日) **一**放 送

大阪ラギオオーケストラ 機行演奏所より中綴言

午後零時五分

か質際に御家庭で役に立つ御任意

なつたものは何ら處理したらいい へるが、父便を続つて黄色つぼく

、これから頼むぞ蓮鉱標上上 (こざれこざれと呼ばれて来る時

は七瀬大川堀とこと 智閣 くらくとも

放

送

(8) 海頭璃 響管別太夫 つ (8) 海頭璃 響管別太夫 つ | 「同九時三〇分 (東) 時報 ニュー タン・気急通報・翌日の番組 (地 方へのニュース・京城) 時間 ニュー タン (碧鮮語・签 作を 山)

絹や毛物の注意を加へどうしたら 一番に敷の多い木織ものを主として が家庭の一と仕事となります。一 しい質でお洗濯も日間ものの洗濯 つばりと流ひ立の白地ものがられ 一殊に提用があければ一層に毎日さ のものに白地物が多く既はれます

記、田植明 (宮

へ古間何處だと道部ねたら! 度に

で面倒だ箕で計れ 、この田で千石取れたるならば桝

、御座れ來なされ二十日頃!

生式(二) 親人 帝思 同七時一分(東)朝の修葺山家學同七時一分(東)朝の修葺山家學

年前七時一分(東)側の総合 山 で県生式(三) 観入 高忠 同一〇時三〇分(東)船人講座

三日のき、物

金州守

唄作祭の夏初

んど!しと鳴るのは何似よあ

置標見しやね聞しやめ

ルリの来朝に端を起し欠いでハリ

个と事形との通回係約の結果能に

に出ります。彼の米園水師提督 即ち人生に譬ふれば影の字の配ひ

家庭の

電用印

高級で

割安な

開港となりました當時の横覆は戸

WAR.

産かに百戸に溺たね一

ッました。それがやがて貿易の隆

女子ぬ事供ちし、いぢめて(

、東ゆの春加那やだめ村の入加那

や、うま見しやめ類女加那限光

本日は横灘開港以來恰も七十七年

橫濱市區 青木周三

七年に際して

上午(東)時報 日用品値段・緋 (仙羅) 初夏の帯作唄

小 ミヒデ

そんな性格の嵌へ持つて来て、 東京の機械面に依頼してA型シャー 柔るか反るかの賭博気分が動いて 間不況に悩み通した領操の上に



そんな事を聞いても問載け、まる で他人事のやうな感じしか起らな

即以つて御鮨りして置くと云つて 0



1、田瓶唄(畜城縣) 一、田瓶唄(畜場際) 佐藤 山西白河郡大沼村 佐藤 山西白河郡大沼村 佐藤 山西白河郡 大沼村 佐藤 山西白河郡大沼村 佐藤 山西山町 (香味)



市村山郡飯塚村 荒井 政治市行山郡飯塚村 荒井長次郎市 加坡 桃菊山形市 加坡 桃菊 同六時(里)量店脚 - 太月の第 座高店商

小賣商振興策としての 商業組合に就い 稻 垣↓

鴫い堰邊に伸好い廊志花を揃みれで山形花だらけ

山形花だらけ

千歳山から紅花の種子橋いた山形市 加藤桃菊外

紅花摘唄(山形縣

職美大島の民謡は続けられた歴史

楽しい孤島の自然船青

就みたい。近人後のに京城府内に於る小宮庭の境域と將來への展覧を述べ終りに京城府内に於る小宮庭の境域と將來への展覧を 工業及臨山漁村の難生問題と共に極めて重大なる事柄であれる間の振興問題は鬼下に於ける準拠战闘から襲て、中小 る、私は小質菌の窮迫の質情、脱因他に之が振興財展として の協同組織化即ち商業組合及小質商店町に就て聊か所懐を 辰

職れて見事や紅花摘みの窓に映

能と孤陽言を解へた血と斑の記録 爬山と特域に苦しんだ被低服者と 原時代の比較的不和な複歌的なも 子は一様に真調に誰もてある。別

しての島民がその遺跡ない哀意の

のさすのも何のその

乱犯つむのもそもじ

のゝ外は皆識訓時代に封建制度の

その山北六段を牛に響ふれば、六 山北六段は間番から牛といばれ 山北六段は間番から牛といばれ **運気をプロットでは、できている。** は組でもあらうか 段中最髄を自他ともに許す破縁着

、花の六月二度あるたらば高れた

れて形変素

の策略に、その発動する能味器、

に合せて歌ひ、その悲痛を実化し

| 感職場に傷き、咳は病み生れもつ

かお不具職人となった不幸の態士

と藝術化して自ら獣めたのである

んで、月明の夕、島の襲逐に芭蕉|烈の士その数十二萬八千八百四十

(蛇の鹿を覗きした三味線)の香「後には敷十萬の遺族あり、又蟹のの薫飾に、その養養する蛇味線、「五桂にして、耐してこれら失々の

優等はその精神をこの民語に打込

ある、何の慰安も健康も知られ

星國数次の国難に際し護國の鬼と

7 つてもつまらないと思いますと提出され、後手番ではあるし、敵が早くも近れ、後手番ではあるし、敵が早くも近れ、後手番ではあるし、敵が早くも近れ

、關の白河来で見てお異れ張樹う

能援援歌の性質を持つ、期らかで

てはなられ。軍人及び其遺家族の

るのは蓋し國民當然の務めでなく

一直々罪みんしよろやウラキリラ

読ひ歌であつてすべての歌の序曲

上に避えさる際粛道版の王備を致

- 其後を安からしめるやらに努め

小数英に上る、今これ等の人々の

、朝花はやり節

日 植 明 「福島群

市川ヒデ外

電話 劇片後

と述べば、次袈裟に用しる。 しょうが、是非勝たなければながの一腕を使てからだ。 もっ なんじっただい を取らうとしてある がほう。 そったな」 どなたでも實確上の額優をお拝がの一腕をあらるとうなら、生う ちゅせうが、是非勝たなければなどなどもなら、といたな」 となべば、次袈裟に用しる。 しゅ 本前棋聯盟會長 公金 易二郎

それと、これを併せ思したけで も既に施氏質局の面自味は油蒸た るものがあるう

こ で自然解くなり過ぎ、文紙り気味 といい気持が出れば、人情の常 語 同日の眩暈君は平奏の聞音に比 戦能しいことである 戦能しいことである しかし、一五歩は養成出来兼ね る、この一手に行いては一部の人 遠の間には迎えばないと勝手されて あるが、飛先きが重くなるので、

見た蛙の仲間はオタマジヤ ったの作曲を始めます。

は蛙蓬に電信柱に止つて聞 雨が踏らないとようしても かせます。その中に粧達け

電線に虚がズラリと並んで 六月になりました。 撫や蛙 おうたの作曲です。 それを 六月の空 です。熊の世界では

度良は入名、名澤出身で第一回選

出代蔵士、その愛妻みよが原形の 良氏之を縮く聴き悲んだが島民之 耳に聞きとめて胸に染める 一説の生る四や月の仮の心、糖果 に部骸して歌つたのが此のうたで べあの日懸へば月さへくある

〜嫐の言ることや身の上のたから「吉邦と妹のしづは處年か前の日の「鬼京へ急ぎゆく中央線列車の中、

本紙一萬號配念懸賞小說二等當選

禁無斷上演映圖

J. J. S 創出 - C 記つ - 12 C) **・ | 同二時二〇分(東)コドネの新聞とすといふ約束で無理から幹太に | 同六時二〇分(東)コドネの新聞

と二英国の方の仕末にまごつかね 同七時 ニュース・天氣見込・職局長の話ではないが、下手をする ファイス

同六時五五分(東)カレントトビ

造行かないし、それこそ、支

飯原兵衛館の段

貫った女と分るといふ『御听恩』

三味報 鶴澤清二郎 愛竹駒太夫 て件単人之助を密通せしを慣はつ ◇──折ふし館には漁師の興茂作 命令で頭比宗三郎が首を受取に來 て密かに館に置い置くと、蝦引の

夏を戦め響を定談とする (職名の)事が戦明し、 津守 (島津) 冠耆忠

出所)などの脳と綜合したもので

べる扇形船の上、二人は一年間の

るところである。 静かな水面をす 丸姉さんに連れられて姿態から跳

からやきえる。二人はやるせない流れ足とまがひながら、夜至高く

叔しさを身にお任えるのだった

避けなれて、ちらちら灯ョ

御子達の柔な

肌をも荒さず

芳香は床ー、

泡立ち細かに

臭氣を發せず

作用は緩和で

方を離りある。遠く美しい花穴が ことを思ひ出して夢のやうな來し 取り換へられた蝦藍の置子といふ

後正 曜取能し 絶入る計り 泣き叫おそよ後容に手を支へ』から、即 0 一一个夜の謎りどこは中頃のへ

起たらしめよとの敷能があったが の影揺は歴果を含めて斑の身代に 観頼の女司概を一の宮守真観式の「甕の道子がら尋ね寄つたので、母 記れの女司概を一の宮守真観式の「甕の道子がら尋ね寄つたので、母 其の傳の飯原兵衛が苦除の計を以一比宗と通じて形見に雲袍の片紬を 首を打つと、おそよは位生島で領

美女であつた、その戀人と人目忍

から歌ふ春子の頬には冷たい誤が

光つてるため

渡り島かよ島追ひは

んで逢ふ河を楽しんだが主人同環 めの主家は恐趣の銀りで代々 の脳患無死を買って塗に様人岩加 形にも告げず自ら纏れた、かんつ 、夕べがで遊だるかんつめあぐか PBI人に愛好され膾炙されてゐる 明日以夜なれば頭匠が追いじ身 た、此物語りを歌つたものでは 王は御機嫌が思かつたが歌間否と 一点れて生家に辿つた、城に踏ると 大監で旗腕したもの、春加那は年春加那との出来事をうたつた歌を 前記らたは男、女の感である 島民語は男女問答式に出来てるて の一度の宿りに故郷に歸つたがな つかしい母の勧めのまくに歸城を いふ故事から出てゐる、一體は大

| 吉丸姉さんもから歌ひなぐさめ

てれる合『配』が油・性、物、植・級、高。

中途に溶崩ず

永保して經濟

用ひ心地爽で

流落しの良い

行方さだめぬしのび笠

のであった。

◇講演◇ 世五分

軍事扶助事業に就いて 演 後七時华 吾

の人々とその家族の歌る精神上及 | 選ばれて國の守りにつく十二二萬 ためには連用自由にして比較速な

年

同じく國民の大義務である。現在 長として社談法人帝國軍人後接触 なり、福國の神靈となれる思男義 | 治二十九年一月の創立以來今日に 族教護事業に對し事念一意茂目も高にして切實なる軍人及軍人遺家 いたる正に四十年絢爛の映なき崇 を主宰する所以のものは同意が明 肯筆言を脳に鞭も贈

解と質同を求むる所以である 一事扶助事業について大方人士の理 際し自己の脂肪念題を去らざる軍 十脚年記念式典を撃げんとするに 一明 六月三日その前立四 是毛里線 每月二十向 標 鞍 線 隔日出帆 等港地—龍遊島 等港地—龍遊島

電話 五一番贈答

文東丸 六月二 日 六月二 日 極 神 石 下 田 五月川一日 下 神 石 下 日 五月川一日 正生 伏兒丸 赤城丸 六月六 日 六月七

高杉商店回漕

(出回条零用)電話 | 〇二〇条

石鹼は外にございませんこれ程御家庭でお徳用な 東京。兩國 〇丸見屋商

信じて意氏に復讐を全てた、熊樹 を取り合けせ、交武監賞盛の孫と

である。電で曲馬鞭を逃れ、列車で数けれた少女養子は今しも吉

五郎は置は任吉趾頃で誕生の時、

のないの意) 明日の、身袖上りゆうは死んで (タベがでは夕まで、明日ぬは んた。名解のかんつめあぐの仕 、開光から影降りて今日ど三日な (だるは何國の、うとど見欲しや可愛しや

い。即ち法の及ばない處を組みが 悉くに適合せしむることは出来なり る民間軍事扶助盟盟の活躍に俟た 至り最後に市民の影響を披露して 歴史を詳述し延いて横端の現状に

湿図を期する壁體なるを以ている 振らず緑の下の力様に甘んじ得進 馬山鹿石浦 毎月五回出標 一環海線各縣下船車連帶貨物取出海 州 線 直航 胸目出帆 (1) 学 線 隔日出帆 新港地 | 小消島 長淵線毎月 北德里、高里浦

成 第三甲線 年月二十旬出明 東 田山線 保日出代。 東京 山線 保日出代。 第三甲線 保日出代。 海里 一種 「東日山線」 保日出代。 東京 小郎 田内 大回 白石浦霧(忠原 大山路) 田内 大回 上八川連町一丁目 「一川」で「私」 (大田) 東京 (大田) 東

日思 の可符しかもたない、二人の姉妹 が後女のために領越関符を買つて ħ (主) 高麗の縣長宝である遠 丸・ほかり (ば

一夜八時廿分

あ

0

(幕) なかく美しい山脈の高かしぐれかはらく~ほろと が保証されない限り少女の楽越切 問える。際長は二人の姉妹の身柄 やららとする





飯塚 三の一六歩は最近回れ

唯一の心當てにしてゐた、日本疏 昨日迄は、それでも… れてしまつてある状態に近いもの あるやうで、思ろしさや不安より A記然としてしまつて、簡単が揮 い。恰度耳許で大槌の音を開いて

常代字列

M

7